

# 組織・プロジェクト変革推進時の利害関係者への「意識改革」具体的アプローチ【オンラインライブ】 (4123110)

本講座では、本当の意味で意識改革・ムーブメントを進める能力開発（成長）を実現する方法を理論と事例、ケーススタディの演習を通して、修得して頂きます。具体的には、「変わりたくても変わらない」という心理的なシレンマの深層を掘り起こす「免疫マップ」手法、そして、総論賛成、各論反対となるなか、変革を推進するため、「技術問題」と「適応課題」を切り分け、組織の熱気・温度のコントロールの仕方を説明します。

開催日時	2023年4月20日(木) 9:00-16:00ライブ配信
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント <b>ヒューマンスキル</b>
DXリテラシー	Why(DXの背景) Mind(マインド・スタンス): 新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス
講師	中谷英雄 氏 (株式会社ピーエム・アライメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長) PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター (CSM) プロダクトオーナー (CSPO)  <略歴> 1. BIPROGY (旧: 日本ユニバック) (1983年~) 2. 三井住友信託銀行 (旧: 三井信託銀行) (1990年~) 3. ピーエム・アライメント (2006年~現職) ・主に金融IT大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関わる諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。  <研究会活動> ・PM関連: PMIJ会員(アジャイルPM研究会会員、プログラムマネジメント研究会会員) ・イノベーション関連: JUAS (イノベーション研究会会員JIIP3) PMIJ会員(ソーシャルPM研究会) ・震災復興関連のNPO向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中  <PM関連書籍著> 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMI プログラムマネジメント標準 第2版
参加費	JUAS会員/ITC: 33,800円 一般: 43,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	プロジェクトマネージャー、プロデューサー、リーダーシップ発揮が要求されている方 <b>中級</b>
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
特記	※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。(Power Skills 8 PDU)
ITCA認定時間	6

## 主な内容

### ■受講形態

ライブ配信 (Zoom ミーティング) [【セミナーのオンライン受講について】](#)

### ■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

### ■開催日までの課題事項

特になし

更にレベルアップしたPMになるために。

◆◆まずは第一歩！小さなムーブメントをあなたが起こす！

組織・プロジェクト変革推進時の利害関係者への「意識改革」具体的アプローチ◆◆

### ◆本講座の特徴◆

- 何故、人と組織は変わらないのか、その本質を理解する。
- 個人・チーム・組織が、理論と実例、ケーススタディ (演習) を通して、ムーブメントを起こす意識改革を進める能力開発 (成長) を実現する方法を修得する。
- ムーブメント・意識改革をチーム・組織に迫る人は、周囲から攻撃され、孤立は避けられない。

その攻撃のリスクを軽減し、前進させる方法を理解し、また攻撃されても変革を進める意義を見出す。

#### ◆参加者の声◆

- ・人を動かすために必要な事（技術・文化の切り分け）が知れ、実践的な内容であった。知りたいことがわかり、大変満足している（製造）
- ・上位組織への変革アプローチを説明してくれるセミナーは、とても少ないので貴重（金融）
- ・これまで受講したことのない内容のセミナーであり、大変いい刺激になった（インフラ）
- ・個人・チーム・組織、それぞれの側面でアプローチの仕方を学べ、実践的（IT）

#### ◆趣旨◆

IT業界を取り巻く環境は、激変しています。IT要求が二極化しています。

既存の大規模システムに対する技術面の老朽化対応、システムの肥大化・複雑化対応、ブラックボックス化対応は、待った無しの経営課題です。

その大規模システムの維持管理コスト削減の要求は、高まるばかりです。

一方、IoT等の新しいデジタル技術や、アジャイルへの適応等、かつてやった事がない技術に適応することが、企業生き残りの条件として経営に突きつけられています。

言葉を変えると、個人・チーム・組織・企業として、スキル、ロール（役割）の変化（グローバル対応）が求められています。

但し、多くの心理学者の研究では、「必要だと分かっている、85%の人が行動すら起こさない。人は、変化を嫌う。」という報告が言い尽くされています。

その中で、あなたが企業文化を変える・組織を前進させるムーブメントを起こすプロジェクトマネージャ（PM）だとすれば、あらゆるチーム・組織から攻撃を受け、締め出される事になり、経営から託された変革は失敗することになります。

あなたは、PMとして目標を達成するために、まず自分自身の意識改革、部下、チーム、組織の意識改革の進め方、能力の高め方を理解する必要があります。変革はトップがやる事と決めず、まずPMご自身のあなたが前に進む必要があるのです。

企業文化を変える・組織を前進させるムーブメントを起こすのはあなたです。

本講座では、本当の意味で意識改革・ムーブメントを進める能力開発（成長）を実現する方法を理論と事例、ケーススタディの演習を通して、修得して頂きます。

具体的には、「変わりたくても変わらない」という心理的なシレンマの深層を掘り起こす「免疫マップ」手法、そして、総論賛成、各論反対となるなか、変革を推進するため、「技術問題」と「適応課題」を切り分け、組織の熱気・温度のコントロールの仕方を説明します。

現在、デジタル時代の技術要素を取り入れてムーブメントを起こす必要があるPM、あるいは、その技術要素を実現する上で必要となる様々な最新のフレームワーク（アジャイル、デザイン思考、リーンスタートアップ、ポートフォリオ、プロジェクトマネジメント、プログラムマネジメント、ビジネスアナリスト等）を適用する必要があるPMにとって必見の講座です。

ご自宅からでもオフィスからでも、ぜひ、実りある参加型オンライン研修にご参加ください！

#### ◆内容：

##### 第1章 マネジメントを取り巻く環境の変化

1. 1 いまマネジャー職に危機が迫っている
1. 2 マネジャーの役割が時代遅れになるリスク
1. 3 マネジャーの仕事を変えた4つの大きな波
1. 4 変革の例：DXとは何か
1. 5 我が国におけるDXの停滞要因は？
1. 6 変革とは、何を意味するか？
1. 7 変革の難しさ
1. 8 総論賛成、各論反対、ヒエラルキーの中を進むリーダー

##### 第2章 なぜ、人と組織は変わらないのか

2. 1 免疫マップとは
2. 2 なぜ、人と組織は変わらないのか

演習1：ある優秀な部下の「免疫マップ」を作成する

演習2：その部下の「目標への道のり」を作成する

2. 3 世界認識の方法変わる
2. 4 人の知性に関する新事実
2. 5 知性の3段階の特徴
2. 6 成人の知性のレベルの分布
2. 7 どうすれば、「大人の知性レベル」を上げることができるのか？

2. 8 組織内の「免疫システム」に対抗する
2. 9 中間管理職の反応に焦点を当てる
2. 10 「フローズン・ミドル」が重要な理由
2. 11 なぜ、人と組織は変わらないのか（纏め）
2. 12 変革を実現するには

### 第3章 変革プロジェクトに求められるリーダーシップ

3. 1 コッターのリーダーシップ論とは何か？
3. 2 リーダーシップとマネジメントを区別する
3. 3 変革実行フレームワーク（1）：8ステップモデル（ジョン・コッター）
3. 4 変革実行フレームワーク（2）：組織変革の7つのステップ（佐々木裕子）
3. 5 変革実行フレームワーク（3）：DXオーケストレーションフレームワーク（マイケル・ウェイド）
3. 6 適切な変革モデルを選択する
3. 7 何故、変革プロジェクトのPMは、失敗するのか？
3. 8 事例研究：大規模変革プロジェクトの推進はこうやって進める！！
3. 9 システムの崩壊という錯覚
3. 10 「技術的問題」と「適応課題」を区別する

#### 演習3：「技術的問題」と「適応課題」を区別する（自分の経験を振り返る）

3. 11 不均衡の中で生き抜く
3. 12 組織の温度のコントロール
3. 13 バルコニーの上から全体を見つめる
3. 14 上手に失敗して、早く成功する（Jカーブ理論）
3. 15 失敗のタイプによる基本的な3つの分類を理解する
3. 16 担当業務と失敗の関係
3. 17 どこよりも失敗を歓迎する場所にする（アマゾン）
3. 18 変革のリーダーシップの纏め

### 第4章 自分のリーダーシップスタイルを振り返る

#### 演習5：ありたい姿を描く

#### 演習6：現状の自分を客観視する

#### 演習7：ギャップを埋める

おわりに

- ・何を、学んだか？
- ・何が、活かせるか？
- ・遊び心を持って「新しいスタイル」を試してみる
- ・答えは、自分の内側にある

※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。（Power Skills 8 PDU）